

事業名 オンラインを活用した高齢者の社会的交流支援

実施主体 学校法人藤田学園 藤田医科大学

協力団体 ジョージ・アンド・ショーン株式会社、豊田市

事業の全体像

- ・オンラインサービスを通じて、**高齢者の社会的交流を支援**する仕組みを構築
- ・**AI分析**を用いた感情推定機能を活用し、**提供するコンテンツの最適化**を図る

オンラインサービス「brainco」上での豊かな交流



- ・高齢者最適化UI/UX
- ・興味関心の発見を支援する多彩なコンテンツ
(体験型、能動的参加、双方向性)

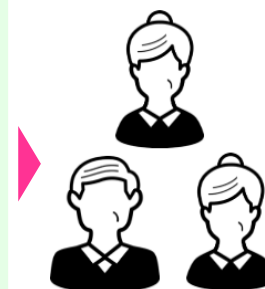


- ・自治体内の既存のオフライン（リアル）の取り組みを、オンラインサービス内で実施（「地域ならではの」コンテンツ）
- ・気軽にオフライン（リアル）に参加できる仕組み



- ・表情、音声、言語情報等を用いたAI分析
→ 活用例：わくわく（Happy）の定量化
→ 「個人最適化されたコンテンツ提供」「コンテンツ改良」に活用

同地域同年代



オフライン（リアル）
での交流に繋げる

事業名 オンラインを活用した高齢者の社会的交流支援

実施主体 学校法人藤田学園 藤田医科大学

協力団体 ジョージ・アンド・ショーン株式会社、豊田市

2024年度の実証内容

実証① 実証に向けた準備

目的 2024年度第四四半期の実証を円滑に進めるための関係作りを行う

内容 ・豊田市担当者、実証候補先の地区（コミュニティ）の関係者等との意見交換・実証準備
・実証形態に合わせた提供予定サービスの開発・改良

対象 ・自治体（豊田市市役所など）
・実証候補先の地区（コミュニティ）のキーパーソン



実証候補先の地区、
実証の進め方を相談



実証形態に合わせた
提供予定サービスの開発・改良

実証② 一部地区での実証

目的 ・地域在住高齢者を対象に、提供予定サービスの有用性を確認する
・オフラインでの交流に繋げる仕組みを検討する

内容 提供予定サービスの利用

対象 地域在住高齢者（30名程度）

オンラインサービス「brainco」上での交流



・提供サービスの使いやすさ（User Interface）などを評価
・コンテンツ評価・提供の仕組みを検討